

## 平成 30 年度 全日本学生自動車連盟九州支部 総会 議事録

日時 平成 30 年 2 月 16 日 14 : 30 ~ 18 : 20

場所 九州大学 伊都キャンパス 亭々舎

出席校 九州大学、九州工業大学、大分大学、福岡大学、北九州市立大学、九州産業大学、  
宮崎大学

委任状提出校 崇城大学、西南大学、九州歯科大学、久留米大学、久留米工業大学

全加盟校 17 校中 出席大学 12 校

全日本学生自動車連盟九州支部規約 第 6 章第 18 条 4 により、本総会は成立した。

注) 時系列に議事を記録しているため、議題の順番が前後している。

### ○議案 4 当支部長の変更について

当支部理事より、当支部長の変更の提案があった。変更は以下の通りであった。

立石毅 西南学院大学副学長から、上原吉就 福岡大学スポーツ科学部教授に変更

ここで議決がとられ、議案 4 は承認された。

### ○議案 5 当支部顧問の推薦について

当支部理事より、全日本学生自動車連盟の規則に則った役職を置きたいという希望により、  
当支部顧問として

立石毅 現全日本学生自動車連盟九州支部長

上田克行 全日本学生自動車連盟全日本理事

の両名が推薦された。ここで承認が得られ、両名は当支部顧問に就任した。

## 平成 30 年度 全日本学生自動車連盟九州支部 総会 議事録

### ○議案 1 当支部規約の改定について

当支部の運営は全日本学生自動車連盟九州支部規約に基づいて行われている。現在の規約は 2016 年度に改定されたものであるが、不必要な文章の削除や支部役員の改訂等のため、本総会において改定を行った。基本的に提案された支部規約案通りであるが、総会中に改訂された部分もあるため、そのみを記述する。

以下、改定点

#### 第 8 条 1 項(4)

→「無届で」の文言を削除。

#### 第 8 条 1 項(6)

→「3 期分」の文言の直後に「(一年半分)」の文言を追加。「3 期分」という文言のみでは誤解を招く可能性があるため。

#### 第 8 条 1 項旧(2)、旧(3)

→内容の入れ替え。旧(2)を新(3)、旧(3)を新(2)に変更。

#### 第 8 条 1 項(8)

→削除。後述の理由のため。

#### 第 8 条 1 項

→「次の各号のいずれかに該当するときは、当支部加盟大学の資格を喪失する。」の後に「ただし下記(3)ないし(6)にあたる場合、当支部より事前に勧告を行い、その上で、当該加盟校への参加資格剥奪を通達する。十分に反省が見られる場合再加盟を妨げない。ただし再加盟の場合は準加盟校扱いになる。」の文言を追加。第 8 条に矛盾が生じたため。

#### 第 9 条

→「(9) 顧問 若干名」の文言を追加し、旧(6)~旧(9)の役職を一つずつ上に繰り上げる。後述の理由のため。

#### 第 14 条

→全文変更。「顧問は理事会の推薦により、総会で承認する」に変更。

## 平成 30 年度 全日本学生自動車連盟九州支部 総会 議事録

### 第 15 条

→「最終年度の任期は 11 月末日をもって任期終了とする。」の文言を削除。

### 第 18 条

→「及び顧問」の文言の削除。

### 第 19 条 4 項

→「総会は、加盟大学の過半数をもって成立し」を「総会は、全ての加盟校および 9 条(1)~(5)の過半数をもって成立し」に変更。

また、「議事は出席した大学、支部長、副支部長、理事、監事及び常任委員長の過半数」を「議事は出席したすべての加盟校、及び 9 条(1)~(5) (以下、総会議決権者と呼ぶ) の過半数」の文言に変更し、19 条新 8 項に追加。

### 第 19 条旧 8 項、旧 9 項

→内容の入れ替え。旧 8 項が新 9 項、旧 9 項を新 8 項に変更。

### 第 43 条

→「総会出席校」を「総会議決権者」に変更。

上記の改訂に対し議決が行われ、議案 1 は承認された。

## 議題 1 平成 30 年度活動報告・平成 31 年度活動予定

全日本学生自動車連盟九州支部(以下九州支部)の平成30年度における活動報告、および平成31年度における活動予定について、下記の報告があった。

### 1. 平成30年度 活動報告

#### 全九州学生選手権大会

全九州学生ダートトライアル大会

5 月 4 日(土)

SPEED PARK 恋の浦(福岡県福津市)

## 平成 30 年度 全日本学生自動車連盟九州支部 総会 議事録

春季全九州学生ジムカーナ大会

7 月 1 日(日)

SPEED PARK 恋の浦(福岡県福津市)

全九州学生ラリー大会

11 月 18 日(日)

福岡県築上郡築上町

秋季全九州学生ジムカーナ大会

12 月 2 日(日)

SPEED PARK 恋の浦(福岡県福津市)

### 全日本関連

全日本学生ダートトライアル選手権大会

8 月 5 日(日)

テクニクスステージタカタ

全日本学生ジムカーナ選手権大会

8 月 18・19 日(土・日)

鈴鹿サーキット国際南コース(三重県)

全日本エコドライブチャンピオンシップ 2017

8 月 20 日(月)

鈴鹿サーキット国際レーシングコース(三重県)

全日本学生自動車運転競技選手権大会・全日本学生自動車連盟総会

11 月 18 日(日)

日通自動車学校(東京都)

### 2.平成 31 年度 活動予定

全九州学生選手権大会

全九州学生ラリー大会

未定

未定

全九州学生ダートトライアル大会

5 月 4 日(土)

SPEED PARK 恋の浦(福岡県福津市)

春季全九州学生ジムカーナ大会

6 月 8 日(土)

SPEED PARK 恋の浦(福岡県福津市)

秋季全九州学生ジムカーナ大会

## 平成 30 年度 全日本学生自動車連盟九州支部 総会 議事録

10 月 12 日(土)

SPEED PARK 恋の浦(福岡県福津市)

### 全日本関連

全日本学生ダートトライアル選手権大会

8 月 4 日(日)

丸和オートランド那須(栃木県)

全日本学生ジムカーナ選手権大会

8 月 31 日・9 月 1 日(土・日)

鈴鹿サーキット国際南コース(三重県)

全日本エコドライブチャンピオンシップ 2017

9 月 2 日(月)

鈴鹿サーキット国際レーシングコース(三重県)

全日本学生自動車運転競技選手権大会・全日本学生自動車連盟総会

11 月 24 日(日)

近鉄自動車学校(大阪府)

ここで議題 1 は承認された。

## 議題 2 会計報告

平成 30 年度の会計報告と、平成 31 年度の予算案の提案がなされた。

柴田理事より「予算案はそれぞれの大会ごとにトロフィー代を計上したほうがいい」というご指摘があった。

ここで議題 2 についての議決を採り、承認された。

### ○議案 2 連盟費増額について

当支部は、部員が 5 名以上いる大学に対し 25000 円の連盟費を年 2 回納付することを義務付けている。しかし当支部主催大会への参加者の減少等が原因で、金銭的な問題により各大会の主催が難しくなっている。そこで、年二回納付する連盟費を 25000 円から 30000 円に増額する(構成人数が 5 名以上の加盟校のみ)ことが提案された。

福岡大学より「5000 円の値上げでは根本的な解決にはならないのではないか」という意見や、大分大学より「加盟校としては、増額は厳しいが大会を開けるなら増額してもよい」などの意見があった。

また、代替案として連盟委員から「連盟委員の補助に上限を設けたり、補助を減額したりする」や「連盟委員に対して一律の補助ではなく、キャリアに応じた補助額にする」などが挙げられた。加えて、理事からも「入賞対象を減らして商品代を節約する」などの意見が上がった。

ここで、原案と代替案とで多数決がとられ、原案が採択された。

今後の課題として、これから先も大会が開けなくなる可能性があることと増額により連盟費を滞納する大学が出てくるかもしれないことが挙げられた。

### ○議案 3 全九州学生大会団体の部 B 車両について

当支部主催学生大会において、B 車両で団体の部に出場する場合は代表選手は別々の車両で出場しても構わないということが規則で定められていた。これに対し、「団体で戦うクラスであるにもかかわらず、B 車両のみ別々の車で走ることができるのはおかしい」という指摘があった。そこで、各大会個別の特別規則書の第 6 条 1 項参加車両の B 車両に関する規定を「B 車両で団体戦に参加する場合は、3 人で 1 台を共有しなければならない。」という旨の内容に改訂することが議案に上がった。

ここで、採決を採り議案が承認された。

### ○議案 6 使用禁止タイヤについて

九州支部大会におけるジムカーナ及びダートトライアルの大会中での使用禁止タイヤについて、2017年度の総会の決議により2018年度は下記参考に示す通りとなっていた。使用禁止有効年が過ぎたため本総会にてSタイヤの使用の是非、有効年数の変更について再び議論された。

## 平成 30 年度 全日本学生自動車連盟九州支部 総会 議事録

まず、有効年は例年通り 2 年でよいかどうかの議論がなされた。理事より「去年は有効年が 1 年だったが今年からなぜ 2 年に戻すのか」という質問がなされた。この回答として連盟委員長は「去年が試験的に 1 年であっただけで例年は 2 年であり、また、去年の一年間で有用性が感じられたことと毎年議決を採るのが手間であるから」と答えた。ここで議決を採り、有効年 2 年が承認された。

次に S タイヤ使用の内容が議論された。

「団体戦：7 点以上のロールケージと 4 点以上のシートベルト等安全装備のある車両を除き、S タイヤの使用を禁止する

シニアクラス：4 点以上のロールケージと 4 点以上のシートベルト等安全装備のある車両を除き、S タイヤの使用を禁止する

その他のクラス：すべての車両に対し S タイヤの使用を禁止する」という原案に対し、

理事から「シニアクラスの車を借りてシニアクラスに参加する初心者は（B 級ライセンスを持っていない場合でも）S タイヤを使用してよいのか。上記のような初心者を制限するために何か条件を追加しなくてよいのか」という意見が寄せられた。

これに対し、九州工業大学より「シニアクラスの参加者はほとんどが上級者なので条件はなくてよいのではないか」という意見があり、多数決で「シニアクラスで S タイヤを使用する場合に何か条件を追加するべきか」を決めることとなった。

多数決の結果、条件は不要ということになり、原案が採択された。

その後、タイヤの銘柄についても議論があり、以下のタイヤを S タイヤと定義した。

\*使用禁止タイヤ(尚、新しく発売される通称 S タイヤも含まれる)

ブリヂストン :520S・540S・55S・11S 等の通称 S タイヤ

ダンロップ :93J・98J・01J・02G・03G 等の通称 S タイヤ

ヨコハマ :021・032・038・039・048・050 等の通称 S タイヤ

トーヨー :FM9R・08R・881・888 等の通称 S タイヤ

海外メーカー製の S タイプタイヤ

その他上記に類似するタイヤも S タイヤとみなし、使用を禁止する。

○議案 7 オープンクラスとシニアクラスについて

当支部主催の大会では、以前より初心者向けクラスとしてオープンクラスを用意していた。しかし、参加制限を設けていなかったため自動車部 OB や競技経験者も OP クラスに参加しており初心者が上位入賞をしにくいという問題があった。

これを受け 2017 年度よりシニアクラスという OB 向けクラスを新設したが、未だオープンクラスに参加する OB も多い。そこで今までのオープンクラスやシニアクラスを下記のように変更することを提案した。

理事より「全くの初心者である自動車部 OB はビギナークラスに参加してよいのか」といった質問があった。これに対して連盟委員から「ビギナークラスは『学生に限る』と考えている。そのような文言を追加する。また、学生以外はシニアクラスでの参加をお願いしたい。」という回答があった。

これを受けて、ビギナークラスの文言を一部改訂、シニアクラスは原文のままでもいいかどうかの議決を採り、承認された。以下の内容で承認された。

ビギナークラス：初心者、かつて当大会で表彰されたものは参加不可、かつ学生に限る。駆動区分なし

シニアクラス：学生以外や OB 等、学生は参加不可、駆動区分なし、一部車両のみ S タイヤ使用可

ダートトライアル、ジムカーナのどちらかで入賞するとそれ以降どちらでもビギナークラスで参加することは不可能

今まで SC 車両でオープンクラスに参加していた人は、SC 車両で参加したければ 3 人集めて団体戦に参加する

### 議題 3 統一規則書と特別規則書について

ここでは、平成 31 年度全九州学生ジムカーナ・ダートトライアル大会統一規則書及び、全九州学生ダートトライアル大会特別規則書草案についての議決が採られ、承認された。



#### 議題 4 平成 31 年度常任委員紹介

平成31年度の常任委員の編成について、以下のように紹介された。

常任委員長	小坂 黎 (九州大学)
常任副委員長	豊本 将希 (九州大学)
常任副委員長	清水 美里 (九州工業大学)
会計	渡邊 武士 (九州工業大学)
常任委員	大出 鈴夏 (九州工業大学)
	岡崎 仙 (九州大学)
	箕輪 遼太郎 (九州工業大学)